

【2025年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
共生学		選択	1	1.2	後期 (隔週)
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
前川 真奈美	B304	manami.maekawa		火曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt; 私たちが生きる社会は、多様な人々が「共生」することで成り立っている。しかし、その「共生」を妨げる要因が存在することも事実である。この授業では、「共生」をどのように実現していくか、個々でできることはどのようなことかについて考察することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt; 心理学やコミュニケーションの観点から「共生」を妨げる要因をいくつか概説する。それらの知識を基盤として、グループワークやロールプレイを行いながら「共生」について理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 (      )				
学習上の助言	オフィスアワーの他、講義中やリアクションペーパーを活用し、積極的に質問して理解を深めてほしい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	講義中に適宜紹介する。				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	「共生」を妨げる要因について心理学やコミュニケーションの観点から理解し、体系的に説明できる。			HSU (1)、(2)、(3)	
②	「共生」を実現するために必要な姿勢や取り組みについて、自らの考えを具体的に説明できる。			HSU (1)、(3)、(5)、(6)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション: 共生とは何かを学び、共生の必要性について考える。	講義・GW	配布資料やグループワークの体験等をもとに講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。		3
2	共生の実現に向けて「振り返る」: グループワークを通して、共生の現状について考える。	講義・GW			5
3	共生の実現に向けて「気づく」: 「気づく」を妨げる要因について、心理学やコミュニケーションの観点から考える。	講義・GW			3
4	共生の実現に向けて「気づく」: 「気づく」ために必要な姿勢や取り組みについて検討する。	講義・GW			5
5	共生の実現に向けて「行動する」: 「行動する」を妨げる要因について、心理学やコミュニケーションの観点から考える。	講義・GW			3
6	共生の実現に向けて「行動する」: 当事者の声や身近な共用品から「行動する」ためのヒントを得る。	講義・GW			3
7	共生の実現に向けて「行動する」: 「行動する」ために必要な姿勢や取り組みについて検討する。	講義・GW			5
8	これまでの学習の総括を行う。	講義・GW			3
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照。				

【2025 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	50	0	0	50	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	5	15
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	5	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	15	15
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	10	30
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	学期末にレポートの提出を求める。 レポートのテーマは講義中に提示する。体裁、内容、表現力等により評価する。(50点満点)				コメントと評価点を付して返却する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎講義後に Teams 上でリアクションペーパーの提出を求める。 講義内容に関する気づき、考察、疑問などが具体的に記述されているかを評価する。(全8回、各5点満点で計40点満点)				いずれも講義中にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③		グループワークへの参加度や貢献度を、グループメンバーからの他者評価をもとに評価する。(総評価を10点満点に換算)				
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	なし						
実践的授業の内容	なし						
そ の 他	自らの考えを記述する課題（リアクションペーパー、レポート等）において、生成 AI の出力結果を利用することを禁止する。これに反した場合は評価の対象外とする。						